

# 青森北進路通信

## 第2号

### 3学年 第1回進路志望調査結果（4月実施）

区 分	今 回		前 回	
	人数	(%)	人数	(%)
国 立 大	34人	(18.7%)	41人	(22.2%)
公 立 大	35人	(19.2%)	38人	(20.5%)
私 立 大	40人	(22.0%)	35人	(18.9%)
国 公 立 短 大	0人	(0.0%)	0人	(0.0%)
私 立 短 大	8人	(4.4%)	8人	(4.3%)
専 修 学 校 等	22人	(12.1%)	21人	(11.4%)
就 職	43人	(23.6%)	42人	(22.7%)
未 定	0人	(0.0%)	0人	(0.0%)
合 計	182人		185人	

現3年生の国公立大学志望者は69名（全体の約38%）で、そのうち青森県内の国公立大学の希望者数は、弘前大学が23名、青森県立保健大学が12名、青森公立大学が15名と、この3校の志望者が国公立大志望者全体の約72%を占めており、地元志向が顕著です。総合型選抜や学校推薦型選抜での受験を希望する生徒も多いと予想されますが、単に「地元だから」ではなく「なぜそこでなければいけないのか」を説明できなければいけません。学びたいことについてよく考え視野を広げ、県外の学校なども調べてみるとういでしょう。私立大や専修学校等の志望者は、「入れるところ」ではなく「本当に入りたいところ」を妥協せず探すべきです。国公立大とは異なり、学費や諸費用は学校、学部によって様々です。授業内容や卒業後の就職先などを詳しく調べ、よく検討しましょう。

就職の内訳は公務員が27名、民間就職が16名です。試験は進学希望者よりずっと早く、9月から始まります。公務員試験は難関ですから、一日一日を大切に過ごすようにしましょう。

### 「進路の手引」ができました

進路関係の情報をまとめた冊子「進路の手引」が完成しました。過去の入試情報や過去の進学実績から就職先一覧、求人票の見方まで、進学・就職すべての情報を網羅しています。巻末には本校での進路関係の手続きのまとめと、昨年度の卒業生からのアドバイスもあります。進路関係で悩んだら、まず一度じっくり読んでみてください。



先輩からのメッセージ(抜粋)  
・私が大切にしていたことは「後悔しないように」ということです。周りの人たちが進路に向けて動き出していく中で、焦りを感じていました。落ちたらどうしようといつも不安でしたが、その分自分なりにできることをすべてしました。(中略)落ちてから後悔しても遅いです。今できることをすべてやってください。

### 3年生・公務員学内講座第Ⅲ期終了 出願に向けた準備もスタート

2年次11月から行われてきた公務員学内講座が終了し、今は各自が模擬試験等を受けながら勉強に励んでいるところです。6月13日にはガイダンスが予定されており、出願のための準備と具体的な説明があります。職種によって出願時期や試験内容が異なるため、注意して早めに動く必要があります。進路の手引きにも日程をまとめていますので、参考にしながら情報収集し、漏れのないようにしましょう。

一次試験突破のカギは、学力です。普段しっかり学習に取り組んでいない人は、①「基礎となる学力がない」②「学習の習慣がない」③「学習のしかたがわからない」という三重苦からのスタートになります。もし1・2年生で「公務員志望だから、学校の勉強はそんなに頑張らなくてもいい」と思っている人がいるとしたら大間違いです。むしろ大学受験者よりずっと早く本番の試験があるため、準備期間は限られており、しかも高倍率の厳しい試験です。日々の授業や小テストを大切に！



### スキルアッププログラム 参加申請始まる

近年、進学就職に関わらず、ボランティアや各種講座、学校外の団体での活動など校外活動への取り組み状況について問われ、「主体性」「協調性」を評価されることが増えています。積極的に参加し、様々な進路目標の達成に役立てましょう。ホームページを通じて申請の案内文書を配布していますので、仕組みや流れをしっかりと理解し、自発的に行動しましょう。 ※校内切は6月9日(金)です。  
(プログラム詳細は「青森県総合社会教育センターHP」にも掲載されています)



## 進路関連行事 実施報告

### 5月2日 保護者進路研修会「こどもを進学させるお金の話」が行われました

講師 株式会社まなびシード 奨学金アドバイザー 久慈 拓也 氏

今年度は85名と多くの保護者にご参加いただき、1時間にわたって奨学金や教育ローンの活用方法について、詳しくご説明いただきました。青森県は奨学金の利用者が全国平均よりも多いそうで、本校でも毎年多くの生徒が予約奨学金の申請を行っています。奨学金は、生徒自身が借りて将来返済するお金ですから、保護者と生徒本人がよく話し合い、しっかりと理解して手続きしましょう。



\* 6月10日(土) リンクステーションホール青森で、同じくまなびシードの講師が「進路相談会&奨学金スペシャルセミナー」を行います。事前申し込みは右のQRコードからとなりますので、よろしければそちらもご活用ください。

入場券はQRコードからお申込ください



熱心にメモを取りながら話に耳を傾けている保護者が多く、講演後には個別相談も行われました。

\* 奨学金関係の校内の窓口は教務部となっております。

### 5月23日 大学・短期大学・専門学校進学相談会

(青森テレビ主催)に参加しました

学校から送迎バスを利用し、17名が相談会に参加しました。会場ではそれぞれが興味ある学校のブースで、授業の内容や学校の特徴について詳しく聞いたり、入試の日程や対策について情報を得たりしました。ホームページや学校案内だけではわからない、細かな内容について確認することができるので、機会を見つけて様々な学校の説明を聞き、比較してみましょう。



## 進路関連行事予定

- 6月10日(土)～11日(日) 3学年進研共通テスト模試
- 6月12日(月) 3学年進路講演会
- 6月13日(火) 1学年進路講演会
- 3学年公務員試験ガイダンス  
※国家公務員試験のインターネット出願がいよいよ始まります
- 6月18日(日) 進学相談会 (東奥日報社主催)  
※弘前大学、法政大学によるプレゼンテーションあり  
【外部会場：東奥日報社新町ビル】 個人参加 HRに掲示案内中
- 6月24日(土) 保護者進路研修会(進学) 10:30～12:00 【本校会場】  
第I部 本校での進学状況について 進路指導部  
第II部 進学への道のりと受験のしくみ 外部講師 横田 和典氏  
総合型・学校推薦型選抜について  
※HRを通じてご案内配付済み、申込締切6月16日となっております



講師はこちらの方!

12日の3学年講演会でも、推薦・総合型対策として志望理由書、面接に関してご講演、ご指導いただきます。わかりやすいお話が好評の人気講師です。上記の5月23日進路相談会でも、以下(チラシからの抜粋)のように学校推薦・総合型選抜対策講座の講師を務めています。

第2部 16:30-17:10

学校推薦・総合型選抜対策講座

自己PR・志望理由の考え方

講師:横田 和典

(進路総合相談コーナー担当)

講師プロフィール/採用コンサルティング・アドバイザー(株式会社ソーシャルデザインング研究所)大学で行われる就職ガイダンスへの講師派遣マネジメント他、自身も就職アドバイザーとして就職相談・模擬面接を行い、就職活動中の学生を支援している。また、高校生・保護者対象の講演も多数実施し、高校生対象の就職セミナーの講師も務めている。



## 卒業生の活躍 ～マスコミで活躍する先輩～

本校のスローガン 新時代 北高 is shining 一人一人が輝くために

今回は首都圏でアナウンサーとして活躍している先輩の紹介です。TBSで「朝の顔」の一人として活躍されている千葉真由佳さんは、本校の卒業生。弘前大学人文学部卒業後、NHK青森でキャスターとリポーターを務めた後、上京しTBSへ。22年10月からは、「THE TIME」(午前4時30分～)及び「THE TIME」(午前5時20分～)で、全国にニュースを届けています。弘前大学ではフィールドワークとして少子高齢化の進む過疎地に入り、地域の魅力掘り起こしに取り組み、その時の経験から「取材する側が好き」と感じ、卒業後の進路としてマスコミを選ばれたとのこと。中央で活躍する今も、時間があればできるだけ青森に帰省し、青森への愛を胸に日々お仕事に取り組まれています。「中央で活躍したい」「アナウンサーになりたい」と思った時、どんな大学を選べばいいのか迷うかもしれませんが、結局は自分の興味関心を追究し、そこでの学びを生かして、自分で道を切り拓いていくことが大切なのであり、地方出身は強みにもできることを、千葉さんの活躍が教えてくれていますね。

千葉さんからのメッセージ『青森出身者を探せば、いろいろな職業の人がいる。頼ってみれば先生のように親身になって応援してくれるはず。田舎だからできないということはない。青森からでも何でもできるよと伝えたい』  
(東奥日報4月19日付「あおしゅと!青森人 in 首都圏」より)

令和2年には、当時 NHK「あっぷるワイド」のキャスターだった千葉さんをお願いして、1学年向けの講演を行っていただいたことがあります

